

ザネリ

登場人物

鷺沢 隼人 …七つ森小学校五年生
白鳥ひろみ …七つ森中学校三年生
鷺沢 舞 … 七つ森女学院中学校二年生

鷺津翔太 … 七つ森小学校五年生
河野健太 … 七つ森小学校五年生
宮澤 航 … 七つ森小学校五年生

鶴田美佳 … 七つ森小学校五年生
鳩山はるか… 七つ森小学校五年生
鳥塚芽依… 七つ森小学校五年生

鴨下えり先生 …小学校の先生

● カムパネルラ

七月一日(日)

舞台は七つ森公園。木々に囲まれた緑あふれる公園である。その中に野外劇ができるような広場がある。

そこで七つ森小学校五年生の子どもたちが、この夏に上演する『銀河鉄道の夜』の練習をしている。

その後ろで白鳥ひろみという中学三年の生徒が絵を描いている。公園に咲いている花のスケッチをしているようである。

劇の練習をしている子どもたちは、『銀河鉄道の夜』の主要な登場人物であるジョバンニとカムパネルラのいずれかの台詞を練習している。ペアで練習している子どもと一人で練習している子どもがいる。台本を読んでいるものもいれば暗記しているものもある。ただ、幕が開いたときは全員が静止している。

隼人が動き出しカムパネルラを演じ始める。

隼人 「母さんは、ぼくをゆるしてくださるだろうか。ぼくは母さんが本当に幸せになるならどんなことでもする。けれども、いったいどんなことが母さんの一番の幸せなんだろう。ぼくはわからない。けれども、誰だって本当にいいことをしたら、一番幸せなんだ。だから母さんは、ぼくを許してくださると思う」

(空の一点を見つめて語り出す) ママ、これはカムパネルラの台詞。僕は今『銀河鉄道の夜』という劇の練習をしてるよ。僕がやりたい役はカムパネルラ。でも、選ばれるのは難しいかも。僕、まだみんなみたいに日本語、上手くないから。

隼人がこの言葉を言い終えると同時に、全員が動き始める。

前述したペアと個人での台詞の練習が始まる。

台詞は同時展開で行われる。※この脚本の終わりに練習の例を提示。

鴨下先生が手を叩いて劇を止める。

鴨下先生 はい、今日の練習はここまで。みんな集合して。

子どもたちが鴨下先生のまわりに集まってくる。

鴨下先生 それじゃオーディションの連絡をするね。オーディションは二週間後の七月十四日土曜日の四時。場所はここで行いまーす。みんな、いい？

みんな はい。

鴨下先生 それで役の決め方なんだけど。決定は私と五年生担当の佐藤先生と大島先生の三人で行います。みんな自分が一番好きなシーンを演じてね。相手役はそれぞれで誰

かにお願いしてやってもらって。

翔太 先生、もしやりたい役に選ばれなかったら、どうなるんですか。

鴨下先生 みんなジョバンニかカムパネルラがやりたいんでしょ。でも、みんながジョバンニとカムパネルラをやるのは無理だから、希望の役になれなかったらザネリとかマルソとかやってもらわないと…

翔太 俺、マルソならいいけど、ザネリはやだな。

はるか あたしも、ザネリだけはやりたくない。

鴨下先生 ザネリってとっても大切な役じゃない。

はるか でも、ザネリってジョバンニのこといじめる、すごいやなやつじゃないですか。

翔太 「ジョバンニ、ラッコの上着がくるよ、ラッコの上着がくるよ」

健太 人間として最低って感じですよ。

鴨下先生 それはそうかもしれないけど…

健太 ザネリ、最後は川に落ちて、それ助けたカムパネルラ、死んじゃうし。

翔太 あれって、ザネリが殺したって感じ？

健太 殺人者ザネリ。

翔太 だよな。あれ、カムパネルラじゃなくてザネリが死ねばよかったんだよ。

鴨下先生 でもそんなザネリがいるから『銀河鉄道の夜』は面白いんじゃない。

はるか でも、あたしは絶対やだな、ザネリやるの。

翔太 先生、ジョバンニとカムパネルラ以外の役、希望とらないで先生たちが決めるんですか？

鴨下先生 そうしようと思うんだけど、何か問題がある？

翔太 先生、もし俺、第一希望のジョバンニになれなかったら、ザネリには選ばないでほしい。

鴨下先生 翔太さん。あなたがそんなこと言ったら、みんなザネリやりたくなくなっちゃうじゃない。いい、確かにザネリは悪い子。でもね、その悪いザネリをやったからって翔太さんが悪い人ってということにはならないの。悪い役を上手くやると、みんなからすごいってほめられたりもするんだから。

翔太 でも俺、ザネリだけはやりたくないんです。

鴨下先生 はいはい。ねっ、他のみんなはどうなの。

翔太 (みんなに) ザネリやりたくない人。

「はい」と言って、みんなが手を挙げる。

鴨下先生 (ため息をついて) それじゃ、オーディションではジョバンニとカムパネルラだけ決めて、他の役は、後であなたたちと相談しながら考えましょ。みんなまだわかんないかもしれないけど、ザネリってとってもいい役なんだよ。(まっ)今日のところはこれで終わりにしよ(う)。オーディションまでよく練習しておいてね。さよなら。

子どもたち (それぞれ) さようなら。

子どもたちが帰って行く。
隼人が一人その場に残って何かを見ている。
白鳥ひろみが隼人に近づく。

ひろみ 隼人君、何見てるの。

隼人 ゾンビさ。

ひろみ ゾンビ？

隼人 たくさんのゾンビが、あそこに。

ひろみ 隼人君、君、霊が見えるの？

隼人 ひろみさん何言ってるの？

ひろみ だってたくさんのゾンビが見えるって。

隼人 ひろみさん、僕が見てるのはあそこにいる鳥だよ。

ひろみ (笑って)隼人君、あれはゾンビじゃない。トンビだよ。

隼人 トンビ？でも、翔太さん、僕にあれはゾンビだって…

ひろみ 隼人君の聞き間違い。正式名トビ。ホークの仲間。

隼人 ひろみさん。花だけじゃなくて鳥も詳しいんだね。

ひろみ 好きなんだ。

隼人 僕も鳥大好き。

ひろみ 隼人君の家族はみんな鳥が好きなの？

隼人 僕だけ。お兄ちゃんは好きだったみたいだけど。

ひろみ お兄ちゃん？隼人君、お兄ちゃんがいるの？

隼人 会ったことはないんだ。でも、日本のどこかにいるってお姉ちゃん言ってた。

ひろみ …

隼人 僕が生まれてすぐパパとママ、別れちゃったんだ。それで僕とお姉ちゃんはママと一緒にアメリカに行った。お兄ちゃんはパパと一緒に日本に残ったんだって。僕そのときまだちっちゃかったからお兄ちゃんもパパも全然覚えてないんだ。

ひろみ お姉ちゃんはお兄ちゃんのこと何か言ってた？

隼人 (うん)だいつ嫌いだって。お兄ちゃんをよく女の子に間違われたって。それが嫌だったって。

ひろみ (笑って)女の子に…

隼人 「おまえの兄ちゃん女」とか言われてよくからかわれたって。(あっ)ひろみさん、兄弟は？

ひろみ (うん)弟と妹がいる。

隼人 三人兄弟。僕と同じだね。

ひろみ そうだね。

隼人 ひろみさん。ひろみさんのママはどんな人？

ひろみ ママはいないんだ…

隼人 あっ…

ひろみ …

隼人 僕もママいない。死んじゃったんだ、事故で。

ひろみ そう…

隼人 似てるね、僕たち。

ひろみ (あっ)さっきの、カムパネルラがジョバンニと銀河鉄道で出会ったときの台詞だよね。

隼人 (えっ)

ひろみ さっき隼人君が練習してた、カムパネルラの…

隼人 知ってるの？

ひろみ 小学校五年生のときにやった。

隼人 ひろみさんも？

ひろみ (うなずく)

隼人 ひろみさんは、何の役やったの？

ひろみ …カムパネルラ。

隼人 いいなー。僕もカムパネルラがやりたいんだ。僕、カムパネルラみたいになりたいんだ。でも、今の僕、ザネリだから。

ひろみ ザネリ？

隼人 (うなずく)

ひろみ どういうこと？

隼人 (言葉を見つけている)

ひろみ …

そこに隼人の姉・鷺沢舞がひろみの背中側に現れる。

隼人 (あっ)お姉ちゃん。

ひろみが振り向く。

舞の顔が驚きの表情に。

ひろみの顔にも同じ表情が浮かぶ。

隼人 (ひろみに)ひろみさん、僕のお姉ちゃん。(舞に)お姉ちゃん、ひろみさん。

ひろみ 黒岩ひろみです。

舞 はじめまして、話は隼人から聞いています。

ひろみ はじめまして。

舞 隼人、おじいちゃんとおばあちゃんが心配するから、そろそろ帰りなさい。

隼人 (うん)わかった。ひろみさん、今度は鳥のこともっと教えてね。

ひろみ (うん)

隼人が帰っていく。

ひろみと舞は、しばらくの間互いに相手を見つめている。

舞 お兄ちゃん…だよね。

ひろみ 舞…か。

舞 (うなずく) どういうこと？

ひろみ …

舞 隼人が花の名前をとってもよく知っている黒岩ひろみさんっていう中学生の女の子と知り合いになったって言うから、その人に会いに来たの。それって…

ひろみ (うん)

舞 いつから黒岩になったの？

ひろみ (いや) まだ、白鳥のままだけだよ。

舞 いつから女の子になったの？

ひろみ 舞、誤解しないでくれ。隼人君がかつてに間違えたんだ。これ、ほんとに。

舞 (で、) どうやって知り合いになったの？

ひろみ パパから舞と隼人君が日本に戻ってきているって聞いて、会いに行ったんだ、おばあちゃんの家。でもなんか照れくさくって…声、かけれなかった。隼人君、公園で劇の練習してるだろ、それ花の絵を描きながら見てたんだ。そうしたら、隼人君が聞いてきたんだよ、「何描いているの」って。「カラスウリの花だよ、『銀河鉄道の夜』に出てくるだろ」って答えると隼人君「見たいなその花」って興味を持ちちゃって。カラスウリの花って夕方日が落ちて暗くなると咲き始めるんだ。白くってとっても不思議な形をした花。隼人君それ見てとっても喜んで。花が咲き終わったときには辺りが暗くなっちゃったんで、おばあちゃんちまで送っていった。隼人君、家の前で「ありがとう、お姉ちゃん」って言ったんで、あっ隼人君、自分のこと女だと思ってんだってわかったんだ。けど、なんか違うって言えなくって…

舞 隼人に「俺は男だ、そしておまえの兄ちゃんだ」って言えばよかったのに。

ひろみ 言えばよかったって思うよ。でも…言えなかった。

舞 もし言ったらどうするだろ、隼人。

ひろみ 「隼人君、びっくりしないでくれ。実は俺、男なんだ。そしてお兄ちゃんなんだ」

舞 …(突然吹き出す)

ひろみ やっぱ笑いだよな。

二人がしばらく笑い合う。しばらくして、舞が「ふー」と大きな息をする。

舞 久しぶり。

ひろみ (うん)

舞 元気みたいだね。

ひろみ 舞も。

舞 元気、かな。

ひろみ これからも隼人君と会っていいかな。

舞 今のまま？

ひろみ だめかな…

舞 ずっとこのままってわけにはいかないでしょ。

ひろみ そうだね。でもしばらくは…

舞 (考えて)いいんじゃない。隼人の話し相手になってあげて。

ひろみ 隼人君、学校でいじめられたりしてない。

舞 からかわれることはあるみたい。

舞 隼人、日本語はママと私の二人しか使う相手がいなかったでしょ。ときどきおかしな日本語使うの。友だちが話してる日本語、わからないことも多いみたい。こないだ聞かれたんだ、「きもいって何？」って。

ひろみ (あー)

舞 私たち、アメリカではそんな言葉使ってなかったから。

夕日が二人を照らしている。

ひろみ 舞。

舞 ？

ひろみ 今でもお兄ちゃんのこと大嫌いか。

舞 …

ひろみ 隼人君が言ってた。お姉ちゃんはお兄ちゃんのこと大嫌いだったって。

舞 大嫌いじゃない。

ひろみ 嫌いくらいか。

舞 (首を振る)会いたかった…(そう言って泣けてくる)

ひろみ …

舞 一緒に暮らしていたときは大嫌いだったのに、アメリカに行ってから、なんか寂しくなっ…すっごく会いたくなっ…

ひろみ (おい)舞、どうしたんだよ。

舞 どうしたんだろ…

ひろみ …

舞 いろいろあったから…

ひろみ …そっか。

舞 ただいま。お兄ちゃん。

ひろみ おかえり。舞。

夕日が赤みを増し、二人を照らす。

暗転

● 母

七月八日(日)

七つ森公園の広場で美佳とはるかが中央のベンチに座って、オーディションに向けて練習をしている。

その後ろでひろみが花のスケッチをしている。

ただし、明かりがついたときは全員が静止している。

美佳とはるかが演技を始める。

ジョバンニ[はるか]「僕たちしっかりやろうね」

カムパネルラ[美佳]「あそこは石炭袋だよ。そらの孔だよ」

ジョバンニ[はるか]「僕もうあんな大きな闇の中だって怖くはない。きっとみんなのほんとうの幸せを探しに行く。どこまでもどこまでも僕たち一緒に進んでいこうね」

カムパネルラ[美佳]「うん。きっと行くよ。ああ、あそこにいるのは僕の母さんだよ」

そこに隼人が息を切らして現れる。

どうやらずっと走ってこの場所に来たようだ。

隼人 鶴田さん。

美佳 鷺沢さん、どうしたの。

隼人 (指差して)あっちで、事故があったんだ。

美佳 事故？

隼人 車にぶつかったんだ。僕その瞬間見ちゃったんだ。

美佳 ぶつかった人、大丈夫なの？

隼人 救急車で運ばれていった。七つ森総合病院に。それで、その事故にあったの、鶴田さんのお姉さんだと思う。

美佳 (えっ！)

はるか 隼人、それ、ほんと？

隼人 (うん)

はるか 美佳、行こう、病院に。あたし一緒に行く。

美佳 (うん)

美佳とはるかが駆けていく。

隼人はママに語りかける(ひろみに背を向けた形で)。

隼人 ママ、僕カムパネルラになれなかった。やっぱり僕は、ザネリだ。

ひろみが隼人に近づく。

ひろみ 隼人君、何があったの？

隼人 (振り向いて) 事故、僕の目の前で起こったんだ。最初、けっこう大きな鳥が道路に舞い降りて、でもその鳥、なんかふらふらしてて。そしたら鶴田さんのお姉さんが「危ない！」って叫んでその鳥を助けようとして道路に飛び出して、そのとき車が。僕、助けようと思ったんだけど…からだが…動かなくて…

ひろみ 隼人君…

隼人 僕にもう少し勇気があれば、鶴田さんのお姉さん助けてあげられたのに、カムパネルラになれたのに。本当にいいことができたのに。

ひろみ 本当にいいこと…

隼人 (うなずいて) 鶴田さん、これから練習出られるかな。

ひろみ 心配だよね…

隼人 (うん)

ひろみ 隼人君、鶴田さんのこと好き？

隼人 それは、友だちだから…

ひろみ そういうんじゃないくて…好きなんでしょ？

隼人 どうしてわかっ…(あっ！)

ひろみ (笑う)

隼人 …鶴田さんだけ、僕のこと馬鹿にしないんだ。だから…

ひろみ そうなんだ。

舞が現れる。

舞 やっぱ、ここだったか。隼人、警察から電話あったよ。

隼人 警察？

舞 (うん) 事故のことで聞きたいことがあるからうちに来るって。事故ってどういうこと。

隼人 鶴田さんのお姉さんが交通事故にあったんだ。僕の目の前で。

舞 で、大丈夫なの。

隼人 わからない。救急車で運ばれたから。

舞 隼人、警察の人が来るまでに戻ってた方がいいよ。

隼人 (うん) わかった。

舞 隼人、先に行ってて。

隼人 (うん)

隼人が駆けていく。

舞 （携帯電話のディスプレイを示して）何、これ。「聞きたいことがあるんだけど、七つ森公園で会えないかな」

ひろみ この前、メアド聞いといてよかったよ。

舞 聞きたいことって何？

ひろみ ママのこと。

舞 パパから聞いてないの。

ひろみ ママが死んじゃったことは聞いた。でも、それだけ。

舞 そうなんだ。

ひろみ ずっと会ってなかったけど、ママ、自分にとってもママだから。知っておきたい…

舞 （思い出している）

ひろみ つらい？

舞 …火事が起こったんだ。冷蔵庫の後ろのコンセントにゴミがたまってそこから火が出たみたい。私が気がついたときにはすごい炎と煙で。私、慌てて外に飛び出したの。その後、ママも外に出てきた。でも、二階で寝ている隼人が出てこなかった。ママ、「隼人、隼人」って叫んで火の中に飛び込んでいった。ママ、隼人を助けたの。二階から下にいる人たちに頼んで、隼人を飛び降りさせて助けてもらって。でも、そのとき急に炎が広がって、ママ、炎に包まれちゃって…消防の人が助けたときには、ママ、意識がなくて、病院に運ばれたんだけど、意識は戻らなくて、二日後に…

ひろみ そんなこと、あったんだ…

舞 隼人、病院でずっと泣きながら祈ってた。「神様、ママを助けてください。助けてください」って。でも…ママの意識、戻らなかった。

ひろみ ママに助けられて、助けてくれたママが死んじゃって…

舞 …

ひろみ それでザネリか。

舞 ザネリって『銀河鉄道』に出てくる？

ひろみ （うん）知ってるんだ？

舞 ほら、あれでしょ。ザネリってジョバンニのこといつもからかって、最後は舟から落ちたところを、カムパネルラに助けられて、ザネリを助けたカムパネルラが死んじゃって。

ひろみ 隼人君、ママに話しかけていたんだ。「やっぱり、僕はザネリだ」って。ママに助けられた自分をザネリと重ねてるんだ。

舞 隼人が読んでいた小説に死んだ人がこの世界に戻ってくるって話があって、よくあるじゃないそういう話。隼人、メッセージがママに届けば、ママが天国から会いに来てくれるって、本気で思ってる。隼人、手紙も書いてたんだ。天国のママ宛に。たくさん。それ全部送り返されてきたんでわかったんだけど。私ね、その手紙黙って読ん

じゃったんだ。なんか、隼人のことが心配で…

ひろみ …

舞 隼人ね、その手紙の中で何度も何度も「ごめんなさい」ってママに謝ってた。

ひろみ (考え込んで)それで、本当にいいことをしようとしたんだ。

舞 本当にいいこと？

ひろみ カムパネルラの台詞にあるんだ。「誰だって本当にいいことをしたら、一番幸せなんだ。だから母さんは、ぼくを許してくださると思う」って。

舞 本当にいいことって何なの？

ひろみ 人の命を助けることなのかな。でも、隼人君は自分の命を捨てて人の命を助けることが本当にいいことなんだって思っているかもしれない。さっきの事故で、隼人君、鶴田さんのお姉さんを飛び込んで助けようって思ったって。でもできなかったって。

舞 隼人が、本当にいいことをしたら…

ひろみ 隼人君、死んじゃう。だから、本当にいいことは本当にいいことじゃないんだ。

舞 お兄ちゃん、それ、隼人に伝えてよ。

ひろみ どうやって。

舞 隼人が考えてる本当にいいことって本当にいいことじゃないよって。

ひろみ だめだよ。それはママが隼人君にしてくれたことを否定しちゃうもの。ママには勝てない…

舞 どうしたらいい？

ひろみ わからない。…でも…何かしなくちゃ…

暗転

● 白鳥

七月十四日(土)

美佳とはるかがジョバンニとカムパネルラを演じている状況で静止している。
そのまわりを囲んでいる子どもたち、そして鴨下先生。
美佳とはるかが演技を始める。

ジョバンニ[はるか]「カムパネルラ、またぼくたち二人つきりになったね。どこまでもどこまでも一緒に行こう。ぼくはもう、あのさそりのようにほんとうにみんなの幸せのためならば僕のからだなんか百回焼いても構わない」

カムパネルラ[美佳]「僕だってそうさ」

ジョバンニ[はるか]「けれどもほんとうの幸せは一体何だろう」

カムパネルラ[美佳]「僕わからない」

鴨下先生 （手を叩いて演劇を終わらせる）ということでオーディションで一番上手かった
はるかさんと美佳さんにジョバンニとカムパネルラをやらせてあげようね。みんな、いい。

翔太 鳩山と鶴田じゃ、しょうがねーな。

鴨下先生 さてと、それじゃジョバンニとカムパネルラ以外の役なんだけど。みんなジョ
バンニとカムパネルラしか受けなかったから、他の役は希望を聞きながら選んでいく
しかないよね。翔太さんの希望は？

翔太 俺、カムパネルラの友だちのマルソがいいな。

鴨下先生 （ねっ）翔太さん、ザネリやってみない。

翔太 先生、前に言ったじゃないですか。俺、ザネリだけはやりたくないんです。

鴨下先生 困ったな。それじゃ残りの役は、明日決めよう。はい、今日の練習はこれ
でおしまい。みんな気をつけて帰るのよ。それじゃさよなら。

子どもたち さようなら。

鴨下先生が帰る。

突然、翔太が隼人の手をつかんで、自分の前に引き寄せる。

翔太 俺、ザネリやんの隼人がいいと思うんだけど。

健太 翔ちゃん、それいい！

翔太 先生、この前、ザネリってとってもいい役だって言ってたじゃん。俺さ、そのいい
役、隼人にやらせてもらいたいな。

健太 やれよ。

隼人 …

健太 遠慮すんなよ。

航 そうだよ。やれよ。

隼人 …

翔太 隼人がザネリやってもいいと思う人、拍手。

みんなが盛大な拍手をする。

はるか ここまで期待されちゃ、やらないわけにはいかないでしょ。隼人、やるって言
いよ。

隼人 …

はるか ほら。

芽依 みんな、隼人にやらせてもらいたいって思ってるよ。

翔太 やれよ、隼人。

隼人 （…うん）

翔太 やったー、ザネリは隼人に決定。

はるか おめでとう。

みんなが拍手をする。

ひろみが現れる。

翔太 隼人、よかったな。鴨下先生には隼人がザネリをやりたいって思ってるって伝え
とくから。

健太 がんばれよ、隼人。

翔太 隼人、ラッコの上着が来るよ。

男の子達 ラッコの上着が来るよ。

みんなが笑いながら帰っていく。

一人残る隼人。

隼人 (ひろみに) 僕、カムパネルラになれなかった。

ひろみ そう…

隼人 僕、ザネリになった。僕がザネリになったのは、きっと神様の罰なんだ。

ひろみ 神様の罰？

隼人 僕のママ、火事で死んじゃった。僕を助けて。

ひろみ そうなんだ…

隼人 僕は、ザネリ。ザネリがザネリを演じるんだ。

ひろみ 隼人君、ザネリって本当に悪い子だと思う？

隼人 翔太君はカムパネルラじゃなくてザネリが死ねばよかったって言った。

ひろみ 隼人君もそう思う？

隼人 (うなづく) ザネリが死んでも誰も悲しんだりしないよ。

ひろみ そうかな、カムパネルラはどうだろう。

隼人 …

ひろみ 何でカムパネルラはザネリと一緒にいたんだろ。

隼人 ザネリが怖かったから…

ひろみ 違うよ。違うと…思う。カムパネルラってそんな情けない子じゃない。確かに、
ジョバンニに意地悪をするザネリは悪いと思う。でもそれがザネリのすべてじゃない。

隼人 …

ひろみ カムパネルラは、ザネリのが好きだったんだと思う。だから一緒にいたんだ。

カムパネルラは、ザネリが死んだら、悲しむよ。

隼人 それじゃ僕は、ザネリ以下なんだ。…僕が死んでも、きっと誰も

ひろみ (隼人の言葉を食って) 悲しむよ。お姉ちゃんが悲しむ。それにお兄ちゃんも。

隼人 お兄ちゃんが？

ひろみ そんな気がする。

隼人 一度も会ったことない僕のお兄ちゃんが悲しむなんて、わかるわけじゃない。

ひろみ わかるよ。

隼人 どうして？

ひろみ それは…

隼人 …

ひろみ 隼人君のお兄ちゃんのこと、知ってるんだ。

隼人 (えっ！)

ひろみ この前、お姉さんの舞さんと話して思い出した。隼人君のお兄ちゃんと小学校のとき一緒だったこと。七つ森小学校で。お兄ちゃん五年生のとき、転校しちやっただけでそれ以来会ってないけど。

隼人 僕のお兄ちゃんってどんな人だったの？

ひろみ どんな人って？

隼人 いい人だった？

ひろみ (うん)いい人だった…と思う。

隼人 女の子みたいだった？

ひろみ (うん)よく女の子に間違われてた。でも、全然気にしてなかったけど。

隼人 お兄ちゃんが、今、どこにいるか知ってるの？

ひろみ 知らない。でも、案外近くにいるのかもしれないね。もしかしたら、隼人君のこと見守ってたりして。

隼人 (笑って)そんな馬鹿なこと…

ひろみ (笑って)あるわけないよね。

隼人 (あっ)ひろみさん、僕のお兄ちゃんも『銀河鉄道の夜』に出たの？

ひろみ …出たよ。

隼人 何の役で？

ひろみ …ザネリ。

隼人 ザネリ？

ひろみ (うなずく)

隼人 僕たち兄弟ってザネリをやる運命なんだ。

ひろみ でも隼人君のお兄ちゃんは、ザネリがやりたくってザネリをやったんだよ。

隼人 変わり者だったんだ、僕のお兄ちゃん。でも、何でザネリなんかやりたかったのかな？

ひろみ ザネリが好きだったんだと思う。だから自分でザネリの物語創って、本にして。

隼人 本に？

ひろみ 君のお兄ちゃん、物語創り変えるの好きだったんだ。『銀河鉄道』と同じ宮澤賢治の『注文の多い料理店』も『怪談の多い料理店』なんて話に変えちゃって。

隼人 かいだん？

ひろみ (あっ)かいだんってお化けの話の怪談。読書感想文の宿題、自分が書いた『怪談の多い料理店』の感想書いて先生にふざけてるって怒られてた。お兄ちゃんふざけてなんかなくて、「今はこの話は未完成だけど、いつか必ず完成させてやる」って言

ってた。

隼人 やっぱり変わり者だな、お兄ちゃんて。で、ひろみさんは、読んだの。ザネリの物語。

ひろみ (うん)『銀河鉄道の夜』の続きなんだけど、それ、ジョバンニの目を見た物語じゃなくて、ザネリの中から見た『銀河鉄道の夜』なんだよね。

隼人 聞かせてよ。お兄ちゃんの創った『もう一つの銀河鉄道の夜』。

ひろみ 『もう一つの銀河鉄道の夜』か…

隼人 お願い。

ひろみ (うん)でも、今じゃなくていいかな。読んだのずいぶん前のことだから、明日まで待ってられない。明日までにできるだけ思い出してみるから。

隼人 (うん)。

ひろみ …

隼人 ひろみさん、ずいぶんいろいろな話、お兄ちゃんとしてたんだね。

ひろみ (あー)そうだね。

隼人 お兄ちゃんのこと好きだったりして。

ひろみ (えっ…いや)好きとかそういうんじゃないかな。

隼人 そういえば、僕のお兄ちゃんの名前もひろみだ。

ひろみ (あっ)そうだったね。

隼人 もし結婚したら、二人とも同じ名前になっちゃうね。

ひろみ そんなことあるわけないけど。

隼人 お兄ちゃんにどこかで偶然会うことがあったら、伝えてくれる？

ひろみ 伝えるって？

隼人 弟がお兄ちゃんに会いたがってるって。

ひろみ (うん)わかった。

隼人 (笑う)。

ひろみ 隼人君。

隼人 …

ひろみ (笑う)

隼人 どうしたの？

ひろみ (あっ)隼人君が会いたがってるって、隼人君のお兄ちゃんが聞いたら喜ぶだろうなって、思ってた。

鴨下先生が戻ってくる。

隼人 鴨下先生。どうしたんですか。

鴨下先生 学校に忘れ物しちゃって。(あっ)そうそう、鷺沢さんに、聞きたいことがあったんだ。今いい？

隼人 (あっ)はい…

ひろみ 隼人君、それじゃまた。
隼人 (あっ)ひろみさん、さよなら。

ひろみが帰っていく。

鴨下先生 (ひろみを見つめて)あの子、小学校のとき『銀河鉄道の夜』に出ていた子じゃなかったかな。

隼人 はい、カムパネルラをやったって言ってました。

鴨下先生 (あー)そうだ、あの子、はじめはカムパネルラやるの嫌がって…カムパネルラじゃなくてザネリがやりたいって。

隼人 ザネリを…

鴨下先生 (うん)担当の先生が反対して、カムパネルラをやってもらったの。あの子すごく演技が上手だったし、女の子っぽいところがカムパネルラのイメージにぴったりだった。

隼人 女の子っぽいって、ひろみさん女ですよ。

鴨下先生 (笑って)何冗談言ってるの。男に決まってるでしょ。あの子、名前、何ていったっけ。

隼人 黒岩ひろみさんです。

鴨下先生 黒岩？あれ、黒だったかな。白じゃなかった。そうだ、白鳥、白鳥だよ。(あっ)名前変わったんだ。白から黒に。

隼人 白鳥…

鴨下先生 (あっ)そうそう、鷺沢さんに聞きたいことがあったんだ。鷺沢さん、翔太さんから聞いたんだけど、ザネリやるって言ったって本当。

隼人 …はい。

鴨下先生 それって、翔太さんたちに押しつけられたんじゃない。

隼人 …そんなことはありません。

鴨下先生 鷺沢さん、本当にザネリやってくれるのね。

隼人 はい…やります。

鴨下先生 わかった。よろしくね。

隼人 はい。

暗転

● ザネリ

七月十五日(日)

ザネリがジョバンニを馬鹿にするシーンで子どもたちが静止している。子どもたち

の中央にいるのはザネリを演じる隼人。

ザネリと子どもたち(翔太、健太、航、芽依)が動き始める。

ザネリ[隼人] ジョバンニ、ラッコの上着がくるよ。

子どもたち (気の抜けた言い方で)ラッコの上着がくるよ。

ザネリ[隼人] ジョバンニ、ラッコの上着がくるよ。

子どもたち (気の抜けた言い方で)ラッコの上着がくるよ。

鴨下先生 はい、それじゃ今日の練習はここまで。鷺沢さんいい感じ。とってもよくなった。アメリカから日本に来て、いろいろ大変なことも多いと思うけど、よくがんばってるよね。みんなも鷺沢さんを見習ってもっともっとがんばらないと。今度の日曜日は劇を通すからね。(あっ)おうちの人にも観てもらいたいな。もしよかったらリハーサルを観に来てくださって伝えといて。それじゃ、さよなら。

子どもたち さようなら。

鴨下先生が帰っていく。

健太 「鷺沢さんいい感じ。とてもよくなった」、だって。

翔太 隼人、ちょっとほめられたからって調子に乗るなよ。ザネリが上手いってのは、結局、おまえがそういう人間だってことなんだから。

隼人 …僕

翔太 何だよ、何か言いたいことでもあんのか。

隼人 …

健太 隼人、翔ちゃん怒らせるとこえーぞ。

翔太 (あっ)そうだ、俺、これから、おめーのことザネリって呼ぶから。

健太 翔ちゃん、それいい。

翔太 いいよな、ザネリ。

隼人 …

翔太 ザネリ、ザネリ、

翔太に健太と航が加わる。

美佳を除いた女の子たちは笑っている。

そしてみんな笑いながら帰って行く。

ベンチに落ち込んで座っている隼人。

ひろみと舞と一緒に現れる。

隼人 (あっ)お姉ちゃん、どうしてひろみさんと？

舞 (うん)そこで、ばったり会って。

ひろみ 隼人君。隼人君に渡したいものがあるんだ。

隼人 渡したいもの？

ひろみがバッグから本を取り出して隼人に渡す。

それはいかにも手作りといった感じの本である。

隼人 (タイトルを読む)『もうひとつの銀河鉄道の夜』…

ひろみ 昨日の夜、隼人君のお兄ちゃんが書いたこと思い出して、それ創ったんだ。

隼人 (本の中を見て)僕、漢字が苦手で…

ひろみ 隼人君、舞さんに頼んで読んでもらうといい。

舞 私が。

ひろみ 舞さん、よろしく。それじゃ。(ひろみが帰ろうとする)

隼人 ひろみさん。

ひろみ 何？

隼人 (あっ…)

ひろみ …

隼人 これ、お姉ちゃんに読んでもらうね。

ひろみ さようなら。

隼人・舞 さようなら。

ひろみが帰って行く。

隼人 お姉ちゃん。パパの名前何だったっけ。

舞 どうしたの、突然。

隼人 ちょっと。

舞 パパは白鳥哲也。

隼人 白鳥だよ。

舞 (うん)

隼人 名前、変わってないよね。

舞 変わってないと思うけど…

隼人 お姉ちゃん、アメリカに行く前は鷺沢じゃなくて白鳥だったんでしょ。

舞 (うん)覚えてないだろうけど。隼人は、鷺沢になる前、白鳥隼人だったんだよ。

隼人 お姉ちゃん、ひろみさんのこと前から知ってた？

舞 (えっ？)

隼人 お兄ちゃんなんでしょ。僕の…

舞 (驚いて)お兄ちゃんがそう言ったの？

隼人 (首を振る)でも、今わかった。

舞 (あ…)

隼人 …